

「学生と教員の協働による学科横断的実学教育」

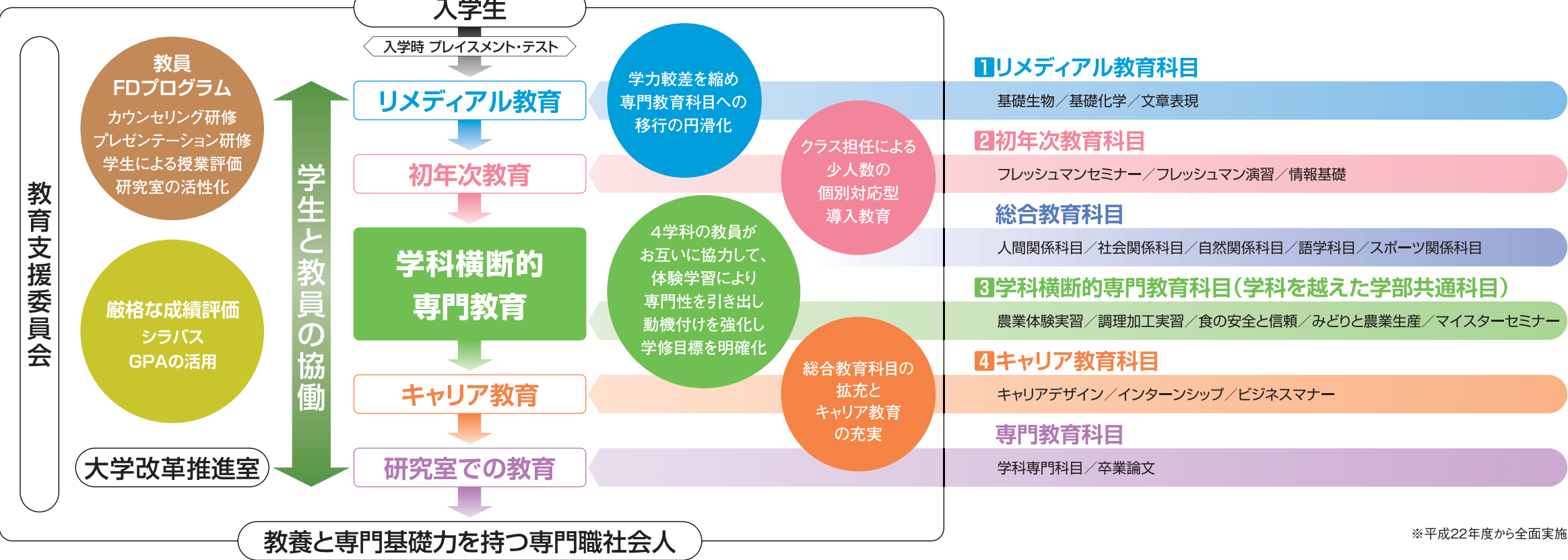
背景

- 1 新入生の学力格差が拡大
- 2 目的意識が希薄な学生の増加
- 3 物事に対して消極的な学生の増加
- 4 学生のコミュニケーション能力の低下
- 5 学生の社会性の低下

取り組み

- 1 **リメディアル教育** 新入生を対象としたブレイスメント・テストの実施とその結果を踏まえたリメディアル教育による大学教育への円滑な移行
- 2 **初年次教育** 少人数クラス制度による個別指導に基づく専門教育への導入
- 3 **学科横断的専門教育** 農学全般にわたる体験学習の実施による「学びの動機付け強化」と「学修目的の明確化」
- 4 **キャリア教育の充実** 総合教育科目やキャリアデザイン関連科目を低学年時より多数開講

カリキュラムの特徴／プログラムイメージ



※平成22年度から全面实施

効果

- 1 学生と教員の協働による教育効果
 - ① 大学教育への円滑な移行と専門教育への導入
 - ② 学びの動機付け強化と修学目的の明確化
 - ③ 総合教育科目、キャリアデザイン関連科目の開講
 - ④ ①～③を踏まえ、自ら積極的に学ぶ喜びを体感
- 2 教員研修による個別対応型教育の質の向上
- 3 農学系の総合力を結集したカリキュラムの提案

評価方法

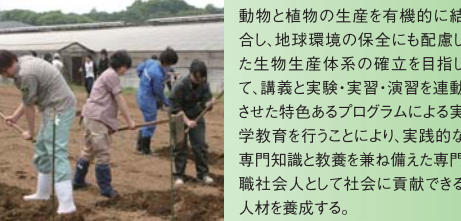
- 1 学生による授業評価
 - 2 学生へのアンケート調査
 - 3 卒業生へのアンケート調査
 - 4 教員による自己教育評価と教育取組レポート
- 教育支援委員会(短大部部長、学科長、選出委員)
- ① 教育効果の検証
 - ② 教育方法の改善
 - ③ 卒業認定GPA値の検討
 - ④ 学生運営委員との意見交換会

東京農業大学短期大学部

建学の精神「人物を畑に還す」
教育の理念「実学主義」

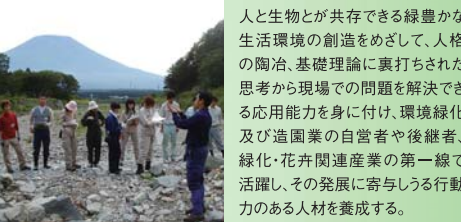
に基づき、人間の生活に直結する分野で活躍する人材を育成する。

生産 生物生産技術学科 130名



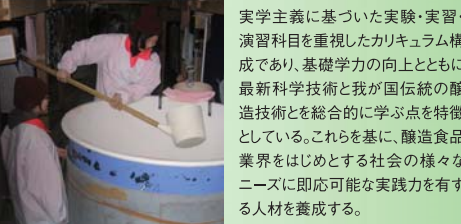
動物と植物の生産を有機的に結合し、地球環境の保全にも配慮した生物生産体系の確立を目指して、講義と実験・実習・演習を連動させた特色あるプログラムによる実学教育を行うことにより、実践的な専門知識と教養を兼ね備えた専門職社会人として社会に貢献できる人材を養成する。

環境 環境緑地学科 70名



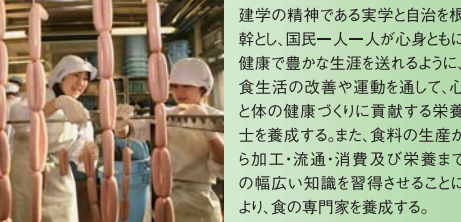
人と生物とが共存できる緑豊かな生活環境の創造をめざして、人格の陶冶、基礎理論に裏打ちされた思考から現場での問題を解決できる応用能力を身に付け、環境緑化及び造園業の自営者や後継者、緑化・花卉関連産業の第一線で活躍し、その発展に寄与する行動力のある人材を養成する。

食品 醸造学科 80名



実学主義に基づいた実験・実習・演習科目を重視したカリキュラム構成であり、基礎学力の向上とともに最新科学技術と我が国伝統の醸造技術とを総合的に学ぶ点特徴としている。これらを基に、醸造食品業界をはじめとする社会の様々なニーズに即応可能な実践力を有する人材を養成する。

健康 栄養学科 150名



建学の精神である実学と自治を根幹とし、国民一人一人が心身ともに健康で豊かな生涯を送れるように、食生活の改善や運動を通して、心と体の健康づくりに貢献する栄養士を養成する。また、食料の生産から加工・流通・消費及び栄養までの幅広い知識を習得させることにより、食の専門家を養成する。